

## Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

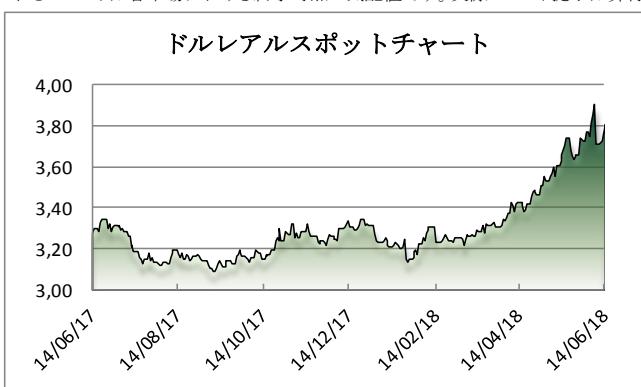
## マーケットサマリー

6月8日から開始された本日15日までのスワップ介入プログラムにより、中銀はレアル相場を3.70–3.75のレンジ内に収束させることに成功していたが、昨日ついにこのレンジを上抜け、一時3.81台半ばまでレアルが急落。中銀は13日同様、3本のスワップ入札で応戦したが(4万枚→4万枚→2万枚)、FOMCがタカ派に傾きつつある中で早くも相場変動の抑制効果に限界が見え始めている。中銀は本日までに245億ドルの流動性供給を「約束」しているが、昨日時点でこの内の187.5億ドルを消化。約束を履行するには本日57.5億ドル相当の入札を実施する必要があるが、マーケットでは中銀が声明文を遵守するかどうかにやや懐疑的になっている。仮に本日の入札額が57.5億ドルに満たなかった場合、中銀は「Credibility(信用性)」という面で大きな傷を負いかねない。中銀は前回5月のCOPOMで大方の予想に反して政策金利据え置きを決定したが、そこに至るまで明確に追加利下げを示唆していただけに、相場急変時の中銀コミュニケーション方法にもともと疑惑が高まっていた。故に、もし本日の入札額が目標額に不足する場合は、中銀には最低限、市場に對して事前通知することが求められる。一方で、予定通り消化された場合でも、中銀は来週以降も難しい舵取りを迫られる。金融政策を為替誘導の手段として利用しないという立場を明確にしている以上、スワップ残高を積み上げることが引き続き第一手段となるが、中銀対マーケットという構図が鮮明になりつつある中でどこまで持ち堪えることができるか。他の新興国と異なり、利上げという選択肢を封じたことで逆に苦しい立場にある。

## マーケットデータ

Indicator	Unit	6月13日	6月14日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,7216	3,8066	2,28%	5,05%	3,1210
	対円	JPY	29,65	29,06	-1,99%	-4,02%	35,13
	対ユーロ	BRL	4,3875	4,4043	0,38%	1,95%	3,8531
円	対ドル	JPY	110,34	110,63	0,26%	0,88%	104,56
	対ユーロ	JPY	130,11	127,98	-1,64%	-2,15%	124,62
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	72.122	71.421	-0,97%	-16,20%	88.318	71.035
CDS Brazil 5yrs	bps	263,90	270,74	2,59%	45,88%	273,59	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	11,81	12,31	4,23%	21,60%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%	7,23	7,60	5,12%	19,50%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%	2,3406	2,3406	0,00%	0,45%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index	200,09	199,01	-0,54%	-2,36%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



〈オンプスマン連絡先: 0800 722 2762〉

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。